

ええやん！古民家
フォーラム

“古民家をまもり・いかす”

フォーラム in 茶吉庵



茶吉庵とは、八尾市恩智にある築250年の旧河内木綿問屋であった萩原家住宅のことです。屋号は「茶屋吉兵衛」。平成29(2017)年に保存・活用するためにプロジェクトチームを結成しリノベーションを開始。翌30年からは、一部で活用を始め、平成31年には国の登録有形文化財に指定されました。

この再生された古民家を活用して、「茶吉寄席」、「やまんねき音楽会」、「やまんねき将棋大会」、「茶吉庵ギャラリー」、「茶吉庵カルチャー倶楽部」などが開催されています。テナントとして、ゆるくカフェ、蔵サロン、kitoutsuwa、が入居しています。母屋、米蔵、中庭ウッドデッキテラスは、レンタルスペースとしても活用されています。

茶吉庵における保存・活用に向けた経過などを紹介し、他にもこれからの古民家活用の道が拓けていけることを願ってフォーラムを開催します。

- 日 時 2021年9月19日(日) 13時30分～16時
・13:30～ 茶吉庵邸内見学会
・14:00～ 古民家フォーラム
- 会 場 「茶吉庵」中庭ウッドデッキテラス
(近鉄恩智駅から東へ700m、東高野街道沿い)
*雨天時には母屋にて開催
- パネリスト・藤井淳弘氏(八尾市観光・文化財課係長)
・萩原浩司氏(登録有形文化財萩原家住宅「茶吉庵」19代目当主)
・濱谷宗慎氏(茶吉庵ギャラリーディレクション)
- 参加費 無料
- 定 員 30人(定員に達し次第に締め切ります)
- 申込み メールにて、9月12日までに
info@chakichian.co.jp

八尾の古民家を“のこす・いかす・あそぶ”

フォーラム in 旧植田家住宅



旧植田家住宅は、宝永元年(1704)の大和川付替えによって開発された安中新田の会所を継承したもので、建造物として主屋、表門、土蔵1、土蔵2、控舎(番部屋)などがあります。「会所屋敷」の建物は新田開発以降のものとなり、主屋と土蔵1は江戸時代後期、表門と控舎は明治中期、土蔵2は大正後期と考えられます。

大阪府下で建物が現存する新田会所は少なく、会所の建物と地を継承した旧植田家住宅は、江戸時代の集落の成立とともに高く評価され、現在の歴史景観からみても貴重な建造物といえます。

・平成18年(2006)3月「国登録有形文化財」に登録
・平成18年6月「八尾市指定文化財」ならびに「史跡」に指定
・平成21年(2009)5月 一般公開

安中新田会所跡旧植田家住宅が市指定文化財となる以前の植田家について元住人が語る寄贈までの経緯や、その後の指定管理者による旧植田家住宅の活用とあり方、そして現在八尾市が取り組む空き家(古民家)政策について、みなさんと共有したいと思います。

- 日 時 2021年11月7日(日) 13時30分～16時
・13:30～15:20 フォーラム
・15:20～16:00 見学会(自由参加)
- 会 場 安中新田会所跡 旧植田家住宅
八尾市植松町1-1-25
(JR大和路線八尾駅下車南東へ徒歩3分)
- パネリスト・旧植田家住宅 元住人
・澤田知英子氏(NPO法人 HICALI代表)
・萬木啓介氏(八尾市建築部住宅政策課)
- 参加費 50円+入館料(一般250円、高校・大学生120円)
- 定 員 30人(定員に達し次第に締め切り)
- 申込み TEL&FAX: 072-992-5311
Eメール: info@kyu-uedakejutaku.jp

主催: 河内の古民家めぐりネットワーク 代表・細見 克 (TEL.080-5328-1137)

参加団体: (株)アスウェル・今米緑地保全会・おいな一れ柏原・柏原おいな〜れガイドの会・茶吉庵プロジェクト・羽曳野まち歩きガイドの会・NPO法人 HICALI・NPO法人フィールドミュージアムトーク史遊会・藤井寺市観光ボランティアの会・松永白洲記念館・まつばらまちの案内人・八尾市観光ボランティアガイドの会・吉村家住宅保存会

* この事業は、一般社団法人近畿建設協会の「地域づくり・街づくり支援事業」から支援を受けています。